

#### ④土づくりセンター・養豚場に係る環境問題について

##### <質問内容>

土づくりセンターについては、有機系発酵促進剤により臭気発生を継続的に抑制していくとのことですが、効果は出ているのか、また、その他にも臭気制御の方法について研究・検討していくとの説明がありましたが、現状どうなのか伺いたい。

養豚場の悪臭原因となっている沈殿槽の清掃等については、代執行を含め、状況はどうなっているのか、また、経営面も考慮する中で、亀岡市として、今後の環境保全に向けての方策等示して頂きたい。

##### <回答>

土づくりセンターについては、有機系発酵促進剤の散布により臭気抑制に一定の効果があると報告を受けております。その他の対応として、発酵を促進する新たな設備導入の提案を受けて検討を進めましたが、費用対効果も含め課題が多くあり実現するには難しいところです。

老朽化した施設の修繕費用が多額となることも踏まえ、将来的には、市域を超えた広域的な処理施設の整備や植物性有機堆肥の製造拠点としての活用も検討したいと考えているところです。

養豚場については、厳しい経営状況から環境保全に向けた対策を行っていない状態です。一方で、現状は関係法令に違反している状況とまではいえず、行政代執行は困難と考えております。

養豚場が破産した場合、発生している環境問題が放置されることに繋がりにくいことから、関係機関とともに今後を見据えた対応を進めてまいります。

#### ⑤府道・市道等の安全対策について（月読橋東詰の交差点について）

##### <質問内容>

道路網の整備（新宇津根橋供用開始、市道池尻宇津根線開通等）に伴い交通量が増加してきており、「府道宮前千歳線」の月読橋東詰め交差点において、特に通勤、通学時間に、右折だまりが無く交差点手前から車両が渋滞しています。

渋滞の回避に向けての取組や対策等をお願いします。

##### <回答>

渋滞状況の解消に向けての対策として、交差点の改良工事（右折レーンの新設）か時差式信号機への改良が検討され、現状としては、時差式信号機への改良が最良と考えています。

亀岡市としては馬路町より「令和7年度府民協働型インフラ保全事業」において時差式信号機への改良要望を亀岡警察署に提出して頂きたいと考えています。



月読橋東詰め付近

#### ⑥川の駅 亀岡水辺公園について

##### <質問内容>

川の駅亀岡水辺公園と左右両岸を行き来できるようにして、月読橋球技場とも合わせ、これら一帯を河川広場として整備し、一層魅力ある水辺公園にしてはどうかと考えます。検討頂きたい。

##### <回答>

桂川左右両岸を行き来するには、治水上の観点から川の形状も含め、検討が必要なため、今後、京都府、関係機関、関係者と意見交換を行い、どのような活用方法があるか協議をしていきたい。

#### ⑦防災に向けた河川の泥上げについて

##### <質問内容>

亀岡川東学園前用水路橋脚下に泥が溜まっており、大雨の際には水が溢れ、市道や隣接家屋に浸水します。

今後の大雨、台風期に向け、防災面で対策が必要です。橋脚の長さなど構造上、人による作業では困難であるため、大型機械等での除去を要望します。

##### <回答>

川東土地改良区とも協議し、検討していきたい。亀岡川東学園前橋脚下の状況を確認し、対応を考えていきたい。

#### ⑧馬路文化センター・老人センター・子ども児童館の耐震について

##### <質問内容>

「馬路文化センター」、「老人センター」、「児童館」について、耐震調査が入ると聞いています。

結果・対策等説明頂きたい。

##### <回答>

耐震調査予定として、令和6年8月中に耐震調査の業者を決定したのち調査開始、令和6年11月頃に調査速報値、令和7年3月中に最終調査結果を出せるよう進めています。

公民館機能を有している「馬路文化センター」の耐震診断後の対応については、地元（三ツ社区）と十分に協議・検討させて頂きたいと考えています。

## 令和6年度 防災訓練

6月30日(日)防災訓練を実施しました。第一部は、震度6強を記録する亀岡市直下型の地震発生及び大雨による避難指示レベル3が発表された場合の避難所開設訓練です。ダンボールベッド・プライベートルーム等を設置し、避難者の受付・名簿の作成・誘導などの訓練ですが、もし実際に災害が起きれば対応できるのはもしかしたら自分だけかもしれないということも意識しながら訓練をしていただきました。

第二部は、避難誘導員研修として明治国際医療大学の木村隆彦教授により、「災害時における避難の在り方と地域防災体制」と題して講演していただき、特に「洪水」をテーマとして、参加者でワークショップを実施、意見交換をし、防災に対する意識が少しでも高められたかなと思います。(藤井 尚)



## 第39回 亀岡市消防操法大会

7月7日(日)第39回亀岡市消防操法大会が亀岡川東学園グラウンドで開催されました。

今回の小型ポンプ操法部門においては、市内各分団より15隊が出場。前回大会（令和4年7月）においては馬路分団が見事20年ぶりに優勝。今回は連覇という大きな目標を掲げ、5月11日より大変厳しい訓練を開始されました。

今回、優勝こそ逃されましたが見事2位入賞、そして1番員の堤翔吾団員に個人賞が授与されました。馬路分団皆さんの一致団結のまとまりと何事にも常に真剣に取り組まれる成果だと思えます。

誠にありがとうございました。

今後とも、馬路町の防火・防災・減災の消防団活動をよろしく願いいたします。

(中澤和洋)



## 一括管理で美しい農地・農村環境を後世に残す 「一般社団法人馬路町農地管理センター」設立記念式典

基盤整備が完了。自然災害が少なく一大消費地京阪神に近い。日本の中でも最高の営農活動の舞台である馬路町の農地・農村環境。それでも何もしなければ、近い将来、農業の担い手不足により、多くの農地が荒地となり農村環境が崩壊してしまうことが確実。

その対応策として、約3年半の年月をかけ、町内外の農地所有者の85%（約150ha）の農地を集積。その農地の貸し借りを仲立ちする組織である「一般社団法人馬路町農地管理センター」を令和5年8月に設立。

農村地域の生命線である必要な食糧生産を可能とする農地・農村環境をしっかり保管理する多様な担い手を確保・支援する体制が整いました。

令和6年6月29日に設立記念式典を桂川亀岡市長様等のご来賓をお迎えして、約60人が出席し開催され、引き続いて6年度社員総会も開催され、いよいよ先人から引き継いだ美しい田畑を後世に残していく取り組みがスタートしました。(中澤基行)

